

【JAPAN BUILD TOKYO(第10回 スマートビルディングEXPO)】 展示会概要

1. 開催日時：2025年12月10日(水)～12日(金)10:00～17:00
2. 開催場所：東京ビッグサイト 南展示棟1階（当社ブース小間番号：31-1）
3. 来場者登録先
[来場者バッジ発行先](#)
4. 出展コンセプト

カイケキ環境を連れ歩こう。
AIがつなぐ、ひとりの快適 × みんなの最適

個人の快適を束ねて、紡いで、全員の快適を編みあげる。
SANKIが目指すのは、社員のパーソナルオーダーに基づいた全体最適コントロール。
スマートフォンなどからリアルタイムに入力された個人の体感フィードバックをAIに集約し、
解析・調整することで、その空間にいるすべての人に最適な環境へ。
ウェルビーイングや生産性の最大化を見つめた「スマートオフィス」を提案します。

5. 出展物

■カイケキなオフィス空間を体験可能なブース展示

三機ならではのオフィス環境構築ノウハウ、設備制御技術に生成AI技術を組み合わせた
統合ソリューションを、昨年よりもパワーアップしプレゼンテーションで紹介します。
さらに、スタートアップ企業とのオープンイノベーションによる、オフィスデザイン自動化への
取り組みも展示します。

■各セクションプレゼン

①コンサルティング企画推進

・ワークスタイルコンサルティング

三機工業は、長年にわたり培ってきたオフィス構築のノウハウに加え、ハイブリッドワークが前提となった
現代の最先端の知見を活用し、お客様の経営課題解決と成長戦略としてのワークプレイス構築を支援します。
オフィスは今や単なるコストではなく、戦略的な投資対象です。私たちは、リモートでは代替できない
「出社する本質的な価値」を最大化します。それは、強固な企業文化の醸成、従業員エンゲージメント
の戦略的向上、そして、未来の価値を生み出すイノベーションの誘発です。
本パートでは、「経営成果に直結する生産性の最大化」という視点から、従業員のエンゲージメントを高め、
組織のパフォーマンスを飛躍的に向上させるためのワークプレイス変革へのロードマップを提示いたします。
未来の企業成長を見据えた、実効性の高い戦略的アプローチをご確認ください。



②NWS

・さまざまな環境をICTインフラから支える「ネットワーク最適化ソリューション」

ICTインフラによるオフィス環境を展示。

さまざまな施設や環境に対してそれぞれの性能要件を満たし、将来にわたって永く運用して
いくことのできるICTインフラの構築、将来技術への対応を見据えた、高品質で最適な
ネットワーク環境の提供を発信します。

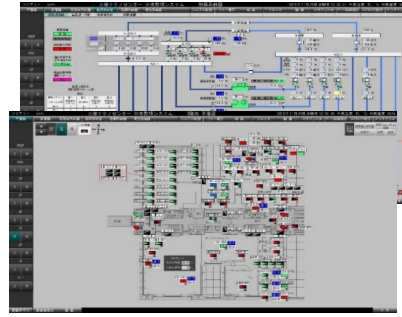


③BMS

・オープンBAシステム「SanBACS」

世界標準のオープンプロトコル、それに準拠した汎用市販品を採用して構築した中央監視・自動制御システム。

展示会では展示ブースとリンクした監視設備を構築し、各設備の制御状況をリアルタイムに体感しながら監視画面上で確認できるデモを実施予定。また、各種サブシステムを統合するSIer事業もあわせて紹介します。



④R&D

・生成AI技術の建築設備への活用提案（AIEージェント）

AIEージェント技術を活用し、設備データ分析と複数の設備機器の制御を生成AIが代理実行するデモを展示。

人が簡単な指示を与えるだけで、データ分析、レポート作成、メール送信などのタスクがシームレスに自動実行されます。また、画像、センサ情報、アンケート結果など多様なデータを生成AIがリアルタイムで統合分析し、インテリジェントな設備制御を実現します。人とAIの協働による次世代ソリューションをデモ実施します。



【デモ展示 イメージ図】

⑤S-LiDAR

S-LiDAR（オフィスレイアウト自動化システム）は、三機工業がnat社と共創し、開発している『オフィスレイアウト（ボリューム検証）の自動生成と3Dモデル化、概算費用の算出』が可能な営業DXツール。

従来はCADソフトでの作業が必要だったレイアウト作成を、営業担当者が打ち合わせの場でリアルタイムに行えるようになる。これにより、お客様の意思決定スピードを向上させ、プロジェクトの円滑な推進を支援します。

2026年1月より社内ユーザーテストを開始予定。その評価結果をもとに機能改善を進めながら、外部への販売を目指しています。

▼完成イメージ



⑥省エネルギー推進

2022年度より三機テクノセンターで取り組んでいる運用改善（省エネチューニング）の検討手順を紹介し、最適運転を行うことで実現できた省エネルギー効果を展示します。



エネルギー使用量変化

